

温室効果ガス排出量検証報告書

デンカ株式会社 御中



BUREAU
VERITAS

2017年4月5日



ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、デンカ株式会社(以下、デンカ)により報告された温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

デンカはビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

1) スコープ 1 及びスコープ 2 温室効果ガス排出量

国内におけるデンカの 6 工場(*1)と 1 研究所(*2)、及び国内の関係会社 5 社(*3)の事業活動に伴う、2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の期間におけるエネルギー起源及び非エネルギー起源 CO₂ 排出量

(*1) 青海工場、大牟田工場、千葉工場、渋川工場、大船工場、伊勢崎工場

(*2) デンカイノベーションセンター

(*3) デンカポリマー(株)、デンカ生研(株)、シー・アール・ケイ(株)、日之出化学工業(株)、デンカアヅミン(株)

2) GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standard に基づいて算定及び報告されたスコープ 3 排出量のうち、カテゴリー1, 6, 7 の排出量。但し、各カテゴリーにおける算定範囲はデンカの決定に基づく。

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のあるデンカの関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、デンカの情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・デンカが定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ 1 1,712,467 t-CO ₂	スコープ 2 (マーケット基準) 443,663 t-CO ₂	スコープ 3 639,805 t-CO ₂

スコープ 3 排出量の内訳は以下の通り。

カテゴリー1: 638,203 t-CO₂ | カテゴリー6: 387 t-CO₂ | カテゴリー7: 1,215 t-CO₂

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に 180 年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、デンカとのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。